

知ってるようで、意外と知らない!
春の酒田に会いに行こう!

酒田 雛街道 案内

新型コロナウイルス感染症対策を
各施設で実施しております。
来場される際にはマスクの着用、
手指の消毒等にご協力ください。



山王くらぶ (国登録文化財)

「傘福」は願いを込めた細工物を天蓋に吊り、
祈りの象徴として古くから酒田に受け継がれてきた
伝統文化です。今年も山王くらぶ2階106畳の
大広間に大小さまざまな傘福の世界が広がります。
第16回 湊町酒田の傘福での999個の細工物が
連なる直径2mの大型傘福は山王くらぶでしか
見られない逸品です。



館内は
フォトジェニック!
写真撮影も
ご自由どうぞ

「さるっこ」は
雛が去るように。
ひとつひとつの願いに
注目してみるのも
楽しいですよ

A 本間美術館

女の子の健やかな成長と幸せを願う春の風物詩と
して、70年を超える歴史ある本間美術館の雛飾りも、
斎藤昌二氏収集の古典人形を中核に、江戸初期
から昭和時代までの多彩な人形を展示します。
様式の変遷が込められた内裏雛には立雛・寛永雛・
享保雛・次郎左衛門雛・古今雛。



庶民が育み
親しんだ押絵の
段飾り。
他に御所人形、加茂人形、衣装人形、
郷土人形、雛段飾りと精緻な雛道具、押絵、
傘福など、当地に受け継がれた人形と趣向の深い雛文化を
一堂にご覧いただけます。
今年度は押絵段飾りと日本各地の
土雛人形を初公開致します。

堤人形(宮城県)、
古賀土人形(長崎県)
など初公開の土雛
人形が全国巡り。

B 酒田市立資料館

酒田市内の旧家より寄託・寄贈された、
江戸時代後期～明治時代初期の享保雛や
古今雛、小さな芥子雛などの雛人形を展示します。
また今年度は、鶴渡川原人形の雛人形をはじめ、
子どもの健やかな成長を
祈って酒田で親しまれた
素材で愛らしい
土人形を、その歴史
とともに紹介します。



市内の旧家で
大切に伝えられて
きたお雛様

鶴渡川原人形
の木型・土型も
展示します

C マリーン5清水屋

美術品専門ギャラリー周辺を
会場に、新古今雛・はもろん、
旧家に伝わる古典雛を展示します。



寿司弁当

※仕入れ状況によって内容が
変更になる場合があります

1Fトポスでは雛弁当の販売も行っております。
旬の素材を使った春色の雛弁当を、雛街道
巡りのおともにぜひどうぞ。
ご予約はTEL.0234-24-1115(トポス)まで。

D 山居倉庫 夢の倶楽部 (華の館)

酒田の旧家・加藤家に伝わる江戸後期の古今雛・百歳雛・
芥子雛ほか、雛屏風を展示します。特に古今雛は実に大きく、
目は玉眼で表情豊か、衣裳には見事な刺繍が施されています。
これほど保存状態が良く、揃って残されているものは全国でも
珍しく、大変貴重なお雛様です。

「おしん」人形ギャラリー
新しい仲間が
加わって見応えあり。



男雛43cm、女雛40cm。
衣裳の刺繍や
織り模様も見事です。



E さかた中通り 商店街アーケード

さかた中通り商店街アーケードに傘福を展示します。
店舗によっては雛人形の展示もあり、雛や傘福を眺めながら
商店街を散策できます。



F 酒田あいおい 工藤美術館

アンティークな酒田の町屋を
利用した美術館。
古い雛人形の原型、立雛、
寛永雛・享保雛・有職雛・
古今雛・芥子雛・衣装雛
など全領域の人形を鑑賞
できます。



名工の古いお雛さまも揃っています。
モダンな金魚雛の段飾りや庄内土人形、
姉様人形、押絵雛。それに傘福のルーツカ
わかる祭礼系古傘福、
祈願系古傘福など、
見どころ満載です。

この美術館
見なければソン!!
一躍人形博士に
なれますゾ!!



G 舞娘茶屋 相馬樓 竹久夢二美術館

相馬樓は江戸時代の料亭「相馬屋」を修復
して開かれた国の登録文化財建造物です。
館内では、湊町文化を伝える酒田舞娘の
踊りや食卓を楽しむことができます。
お雛様の季節には、明治時代に制作された
古今雛・芥子雛などの各種古雛などを
展示します。
相馬樓オリジナルの現代雛
は随時展示しています。

お雛様の時期、
限定オリジナルスイーツ
を準備しております。
お楽しみして下さい。



相馬樓
イチオシの
美男美女です。

H 本間家日本邸

本間家のお雛さまは、江戸時代に北前船で運ばれたものです。
お土産や御礼、婚礼道具としてお持ちになったものなど来歴も様々です。
京雛は作りがたく、江戸雛もあります。現在の雛段は高さ2m、
幅1.5間あり、絵屏風・お雛さま・相生様(百歳雛)・おせんじ様などの
人形を飾ります。ケースの中には時絵の施された実物そっくりなミニチュアの
雛道具が並びます。
春を告げる桃の節供。
本間家に伝わるお雛さまを
お楽しみ下さい。

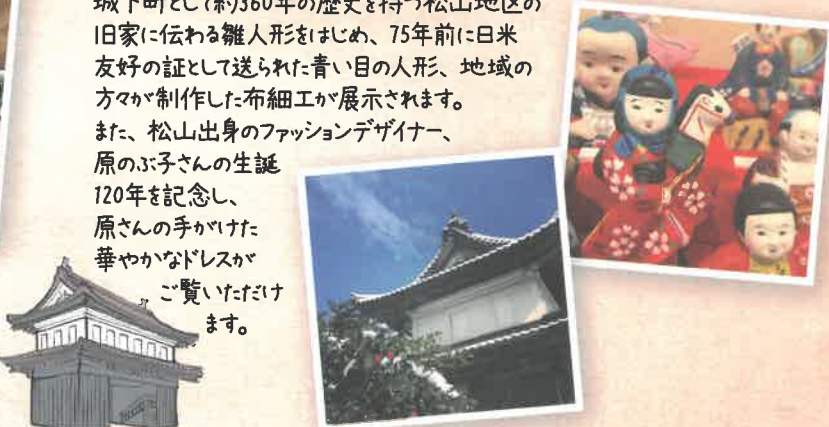


中国のお坊さんの
ように見える稚児人形。
「火の神様」と伝わり、
かまどの火をお守りした
といわれている。

県指定天然
記念物「きのこ形」の
ある総光寺が
間近にあります

I 酒田市松山文化伝承館

城下町として約360年の歴史を持つ松山地区の
旧家に伝わる雛人形をはじめ、75年前に日米
友好の証として送られた青い目の人形、地域の
方々が制作した布細工が展示されます。
また、松山出身のファッションデザイナー、
原のぶ子さんの生誕
120年を記念し、
原さんの手がけた
華やかなドレスが
ご覧いただけます。



J 旧阿部家

旧阿部家は元禄3年の創建と伝えられ、柱は石場立の
チョウナ仕上げで、江戸時代中期以降の庶民の生活を
偲ぶ貴重な建造物として、市の文化財に指定されています。
お雛様の季節には、庄内一円から寄贈された素材で愛らしい土人形約650体を展示。
江戸時代末期から戦後に作られた昔ながらの土人形が奥座敷に並びます。



主要展示施設のご案内

開催期間は変更される場合がございますので各施設にご確認ください

- A (公財) 本間美術館** 酒田市御成町7-7/☎0234-24-4311
期間 2月20日(土)～4月5日(月) 無休 時間 9:00～16:30 ※4月からは17時まで
料金 大人1,000円、学生450円(小中生無料)、団体割15名以上大人100円引き、学生50円引き **本間家旧本邸との共通券 1,600円**
- B 酒田あいおい工藤美術館** 酒田市相生町1-3-17/☎090-2846-6846
期間 2月20日(土)～4月4日(日) 無休 時間 10:00～17:00
料金 大人300円、中高大生200円、中学生以下100円
- C 酒田市立資料館** 酒田市一番町8-16/☎0234-24-6544
期間 2月20日(土)～4月5日(月) 休 月曜日(2・3月) 時間 9:00～16:30
料金 一般200円、高校生90円、小中生50円(土日は小中生無料)
- D 本間家旧本邸と別館「お店」** 酒田市二番町12-13/☎0234-22-3562
期間 2月下旬～4月上旬 無休 時間 9:30～16:30 ※2月末までは16:00
料金 大人800円、中高生300円、小学生200円、未就学児無料、15名以上団体割有り 10%引き **本間美術館との共通券 1,600円**
- E 山居倉庫 酒田夢の倶楽部(華の館)** 酒田市山居町1-1-20/☎0234-22-1223
期間 2月27日(土)～4月4日(日) 無休 時間 9:00～17:00(2月28日まで)、9:00～18:00(3月1日から) 料金 無料
- F さかた中通り商店街アーケード** 中通り商店街アーケード内/☎0234-21-2601(事務局)
期間 3月1日(月)～4月3日(土) 無休 料金 無料
- G マリン5清水屋** 酒田市中町2丁目5-1/☎0234-24-5511
期間 3月3日(水)～28日(日) 休 火曜日定休 時間 10:30～18:00 料金 無料
- H 山王くらぶ(国登録文化財)** 酒田市日吉町2-2-25/☎0234-22-0146
期間 2月28日(日)～10月31日(日) 無休 時間 9:00～17:00(最終入館16:30)
料金 大人800円、高校生(学生証提示)200円、小中生120円、団体割 大人720円・高校生160円・小中生80円
- I 舞娘茶屋 相馬樓/竹久夢二美術館** 酒田市日吉町一丁目2-20/☎0234-21-2310
期間 3月1日(月)～4月3日(土) 休 水曜日 時間 10:00～16:00
料金 大人1,000円、中高大生500円(小学生以下無料)
- J 酒田市松山文化伝承館** 酒田市字新屋敷36-2/☎0234-62-2632
期間 2月12日(金)～4月4日(日) 休 月曜日(祝日の場合は翌日) 時間 9:00～16:30
料金 大人370円、高大生260円、小中生110円(小中生は土日無料)、団体割有り
- K 旧阿部家** 酒田市山元字千刈田27/☎0234-54-2776
期間 3月2日(火)～5月5日(水) 休 月曜日(祝日の場合は翌日) 時間 9:00～16:30(最終入館16:00) 料金 無料



- 雑街道協賛店** ☎=雑スイーツあり ☑=雑メニューあり
※市外局番/0234
- 酒田市中町周辺**
- ル・ポットフー ☑ 幸町1-10-20(ミライニ内)/26-2218
 - 寿し割烹 こい勢 ☑ 相生町1-3-25/24-1741
 - 栗原甘泉堂 ☑ 一番町10-16/22-0388
 - 菊池菓子舗 ☑ 二番町8-19/0120-303331
 - パティスリー・ジェラテリア ベビー・チュチュ ☑ 二番町10-13/080-5220-5149
 - 竹内菓子舗 ☑ 二番町1-1/22-1402
 - 割烹食堂 伊豆菊 / すし処 武蔵 ☑ 中町2-1-20/22-3216
 - 旬味 井筒 ☑ 中町2-3-27/24-1422
 - だるま寿司 ☑ 中町3-1-12/24-0008
 - 寿司・割烹 鈴政 ☑ 日吉町1-6-18/22-2872
 - 料亭 香梅咲 ☑ 日吉町1-3-16/23-3366
 - うなぎ割烹 治郎兵衛 ☑ 日吉町2-1-32/24-0248
 - 四季の寿司処 すしまる ☑ 日吉町2-3-8/22-1138
 - 魚屋 富重 ☑ 本町3-5-16/26-8044
 - 鯛大泉 みなと市場店 ☑ 船場町2-5-56(みなと市場内)/22-3503
 - 芳香亭 ☑ 山居町1-1-20/21-1036
- 国道7号線周辺**
- 洋風郷土料理RESTAURANT巳之助 ☑ 大町6-1/22-2377
 - 西洋割烹 花月 ☑ こがね町2-25-10/25-3966
- 東平田地域**
- 生石 大松家 ☑ 生石字上坂125/94-2617
- 田沢・松山地域**
- 御菓子司 酒田屋 ☑ 字肴町30/62-2063
- ☑雑メニュー提供期間・詳細については各店舗にお問い合わせください。

江戸時代寛文期(1670年代)河村瑞賢(※)によって「西廻り航路」(日本海海運)が整備されると、酒田湊における船舶の出入は増大。一航海で千両(江戸時代初期の1両約13万円)を儲けたといわれる買積み廻船「北前船」(廻船)国内沿岸で物資輸送に従事する船の寄港地となった酒田では商業が活発化し繁栄を極めました。最上川舟運(舟運)舟を利用した交通や輸送によって内陸から米・紅花・青苔・布などの原料に利用される青みがかった植物繊維。カラシム・大豆・蠟・漆などが酒田湊に集められ江戸(現在の東京)や上方(京都)に送られると、酒田湊には帰り荷として塩・鉄・茶・古手(中古着物)・雛人形・仏像・石材・陶磁器など上方を中心に全国各地の産物・工芸品をはじめとした文化芸術が運ばれ、舟運を通じて内陸にももたらされました。永きにわたり交流路として地域を支えてきた酒田湊と最上川舟運。海運水運によってつながれた文化の一つが「雛文化」であり、出羽全国各地に受け継がれ、その歴史を物語っています。

北前船と紅花のおかけ
最上紅花は全国一の良質な原料ではありませんが発色技術は地元になく、ほとんどが京都方面の染色家たちによって秘伝として専有されていました。美しい紅染の衣装は上層階級にのみ着用品が許されており、一般庶民は身につけることができませんでした。しかし、五節句行事「1月7日(人日)・3月3日(上巳)・5月5日(端午)・7月7日(七夕)・9月9日(重陽)」の五節は全ての人が祝うことができたため、自分達が作った紅餅からあのような内裏様の美しい着物の色に染められたのだと感動した山形の人達は、特にお雛さまを愛するようになったのです。

雛祭りは夫婦睦まじき様なり
さかのぼること平安時代、上巳の節句「3月3日」に行われた紙で作った「形代」や「人形」に穢れや厄災を移して川や海に流す厄払いの行事が「雛祭り」の始まりとされています。江戸時代に入ると「雛祭り」は天皇・皇后をかたどり夫婦仲の睦まじい様子を写した「内裏雛」ものに変化していき、現代では子どもの豊かな成長を願うシンボルとして定着しています。内陸も庄内地方も、日本一と言えほど「雛祭り」を愛し、楽しんでいる地域なのです。

(酒田あいおい工藤美術館館長 工藤幸治記)

酒田雛街道は市民の愛敬心

寛永雛
江戸時代中期に町家を中心に流行し、永く作られた雛人形です。大ぶりのものが多く、顔は面長で、能面のような表情をしています。故実に基づかない、独創的な装束が特徴的です。

享保雛
宝暦(1751～64)頃に公家社会から生み出された、公家装束を忠実に再現して作られた雛人形です。朝廷の装束を司る高倉家や山科家が調製していたため、高倉雛の別称があります。

立雛・紙雛
立雛(次郎左衛門風)

有職雛
宝暦(1751～64)頃に公家社会から生み出された、公家装束を忠実に再現して作られた雛人形です。朝廷の装束を司る高倉家や山科家が調製していたため、高倉雛の別称があります。

次郎左衛門雛
じろうざえもんびな

芥子雛
小型のため庶民から最も人気のあった芥子雛は、頭部が芥子の実で作られているのでこの名前がつけました。小さきもの～三寸(10cm)くらいの人形を呼びます。

古今雛
安永(1772～81)の終わり頃、江戸を代表する名工・二代原舟月によって大成された、江戸生まれの雛人形です。写実的な容貌をしており、現代の雛人形にもその影響が見られます。

傘福
日本三大つるし飾りのひとつ、酒田の「傘福」は、子どもの健やかな成長や家族の無病息災など、人々の幸福を祈願するために生まれた飾りものであり、伝承文化財です。

千石船(日和山公園)

酒田に伝えられたお雛さま